

報 道 資 料

平成 2 5 年 9 月 3 0 日

奈良県立大学

担当：岡橋、上中

: 0742-22-4978

奈良県立大学創立 6 0 周年記念祝賀式について

1 概 要

奈良県立大学は昭和 2 8 年 4 月に奈良県立短期大学として開学して以来、本年で創立 6 0 周年を迎えます。

これを記念して奈良県立大学同窓会及び後援会の主催により記念祝賀会が開催されます。

2 日 時

平成 2 5 年 1 0 月 6 日 (日) 1 1 時 ~ 1 5 時

記念式典 (1 1 時 ~ 1 2 時 2 0 分)

記念写真撮影 (1 2 時 3 0 分 ~ 4 0 分)

祝賀パーティー (1 2 時 4 0 分 ~ 1 5 時)

詳細 別添 1

3 場 所

奈良市船橋町 1 0 番地

奈良県立大学 3 号館 2 階 多目的ホール

4 これまでの卒業生数・・・6,430名

< 内 訳 >

奈良県立短期大学 4,255名 (昭和29年度 ~ 平成4年度)

奈良県立商科大学 751名 (平成5年度 ~ 平成12年度)

奈良県立大学 1,424名 (平成13年度 ~ 平成24年度)

5 奈良県立大学について

資料 1

祝賀式開催内容

(1) 記念式典 (11時 ~ 12時20分)

開会挨拶	久保 憲司	同窓会長
来賓祝辞	伊藤 忠通	学長
パネルディスカッション	「大学の变遷と公立大学法人化後の展望」	
パネラー	伊藤 忠通	学長
	神木 哲男	元学長
	安田 海	学生会執行委員長
	久保 憲司	同窓会長

(2) 記念写真撮影 (12時30分 ~ 40分)

(3) 祝賀パーティー (12時40分 ~ 15時)

開会挨拶	山方 文代	後援会長
来賓祝辞	荒井 正吾	奈良県知事
乾 杯	谷奥 昭弘	同窓会名誉会長 (前桜井市長)
閉会謝辞	中村 剛士	同窓会副会長

奈良県立大学について

(1) 沿革

昭和28年4月	奈良県立短期大学商経科（夜間部）開学
平成 2年4月	奈良県立商科大学商学部商学科 開学
平成 8年4月	商学科に商学コースと国際観光経営コースを開設
平成12年4月	地域創造学部の設置認可を申請
平成13年4月	奈良県立大学に名称変更 地域経済学科と観光経営学科からなる地域創造学部を設置
平成19年4月	夜間部から昼間部へ移行 地域総合学科と観光学科に名称変更

(2) 大学の特徴

奈良県立短期大学（夜間2年制、昭和48年度より夜間3年制）

勤労青年に商業経済の専門知識を授け、これを地域の産業経済に還元することを旨として、昭和28年現在地に開設。

奈良県立商科大学（夜間4年制）

短期大学に対する社会的認識の変化、近隣での4年制大学の増加により、奈良県立短期大学受験者数が減少したことから、勤労学生に対する高等教育の提供という目的を維持しながら4年制大学に移行することとし、平成2年に奈良県立商科大学として開学。

観光の経済的、政治・社会的、文化的意義の増大に伴い、平成8年度に商学科内に観光分野に焦点を置いた「国際観光経営コース」を新設。また、平成10年度には奈良の歴史、文化、商工経済、マスコミなど幅広い分野にわたるリレー形式の講義「奈良大和特別講義」を一般にも公開する形で開設。

奈良県立大学（昼間4年制、平成18年度までは夜間4年制）

地域自らが主体的に自らの責任において、地域の未来を創ることができる環境を整えること、またその環境を十分に活かすことができる能力を身に付けること、といった時代のニーズに対応するため、県立商科大学商学部商学科を地域創造学部観光経営学科及び地域経済学科に改組し、大学の名称を奈良県立大学に変更。「地域から学び、地域に貢献する」ことをモットーに、少人数制とフィールドワークに重点をおいて、地域の未来創りに貢献することができる人材を育てる大学を目指すこととした。

平成26年度には、地域総合学科と観光学科を統合して「地域創造学科」に改組(予定)。学科内に「観光創造」、「都市文化」、「コミュニティデザイン」、「地域経済」の4つの領域(コモンズ)を設け、対話型少人数教育を推進するとともに、地域と大学の連携による地域を志向した教育・研究・社会貢献を推進していく予定。このような大学の取り組みが、国の描くこれからの大学像と合致するものと評価され、本年度文部科学省の補助事業である「地(知)の拠点整備事業」に採択された。

平成27年度には、独立性を保ちながら、機動的で効率的な経営体制を確立するため、公立大学法人化する予定。